

## ロタウイルス感染症予防接種を受けるにあたっての説明

### ロタウイルス感染症とは

ロタウイルス感染症は、5歳以下の乳幼児に見られる胃腸炎のひとつです。嘔吐・下痢が重症化すると、入院することもあり、本人や家族への負担が高まるばかりでなく、まれに脳炎やけいれんを引き起こすこともあります。生後、すぐに感染する場合もあるので、ワクチンの接種は、早い時期に完了させます。

### ロタウイルス感染症予防接種について

ロタウイルスワクチンは飲むタイプの生ワクチンです。ロタウイルス胃腸炎の重症化を予防します。

令和2年10月1日から定期接種が始まります。令和2年8月1日以降に生まれた方が対象です。

ワクチンは2種類あり、効果や安全性に差はありませんが、接種回数が異なります。

途中で種類の変更はできません。転居などの特別な事情がある場合は事前に自治体に相談してください。

ワクチン名	ロタリックス	ロタテック
接種時期	出生6週から24週0日後（約5か月半まで）	出生6週から32週0日後（約7か月半まで）
	※初回接種は生後2か月から出生14週6日後までに受ける ※接種間隔は27日以上空ける	
接種回数	2回	3回

### ロタウイルス感染症予防接種の副反応について

接種後、1～2週間は腸重積症に気を付けましょう。

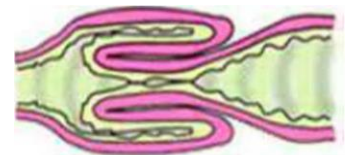
腸重積症は小腸が大腸に引き込まれ、腸の壁が重なり合う状態になる病気

で速やかな治療が必要です

ワクチンの接種の有無にかかわらず、3か月児から2歳児に多い病気です。

発症後速やかに治療をすれば手術をせずに治すことができます。

ロタウイルスワクチンを接種しなくても起こる病気でもともと、3～4か月齢ぐらいから月齢が上がるにつれて多くなります。早めに接種を開始し、早期に接種完了させましょう。



### 予防接種後の注意事項

●接種後、以下の症状が1つでもある場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

- 突然激しく泣く
- 嘔吐を繰り返す
- 便に血が混じる
- ぐったりして顔色が悪い
- 機嫌が良かったり不機嫌になったりを繰り返す

---

## 接種にあたっての注意事項

---

予防接種は、体調の良い日に受けることが原則です。

次の場合は、予防接種を受けることができません。

1. 明らかに発熱がある場合(37.5度以上をいいます)
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
3. 嘔吐や下痢の症状があるとき
4. 同様のワクチンによってアナフィラキシーを起こしたことがある場合
5. 腸重積症をおこしたことがある方
6. 腸重積症の発症を高める可能性のある先天性の消化管障害があり、治療していない方
7. 免疫機能に異常のある疾患を有する場合、及び免疫抑制をきたす治療を受けている場合
8. 重症複合免疫不全症（SCID）の可能性のある人
9. その他、医師より不適當と言われている場合

※おなかがいっぱいであると、ワクチンがスムーズに飲めない場合がありますので、**接種の30分前は授乳やミルクを控えましょう。**

投与後に吐き出したとしても、少量でも飲み込んでいれば一定の効果が期待できるため、追加接種は必要ありません。

---

## 予防接種による健康被害救済制度について

---

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残したりといった健康被害が生じた場合には、因果関係を審議し、予防接種によるものと認定された場合に補償を受けることができます。

---

## 予診票について

---

予防接種手帳には2枚の予診票を入れています。

ロタテックを希望の方は医療機関で3枚目をもらってください。

<p>&lt;お問い合わせ先&gt; 備前市 保健課 健康係 電話 64-1820 (直通)</p>
--